



▶生前の面影をしのいで

笠岡市名誉市民で前笠岡市長の故渡邊嘉久氏の市民葬が12月10日、笠岡総合体育館でしめやかに営まれました。
市民葬に先立って、叙位・叙勲の伝達、笠岡市名誉市民の推戴が行われ、その後、遺族や市民など約700人の参列者が献花。故人の生前の功績をしのび、冥福を祈りました。

◀これであなたも環境博士！

環境問題に関心を深めてもらおうと11月23日、笠岡総合体育館で環境フェスティバルが開催されました。

会場には、太陽光パネルや汚水処理の課程など、環境に関するさまざまな展示があり、それぞれのブースで勉強すれば答えられるクイズも行われており、終日

多くの人が訪れていました。

なかでも、古紙を使ってはがきサイズの紙をつくる「リサイクル紙すきのコーナー」では、たくさんの家族連れなどがオリジナルの紙づくりに挑戦していました。



▶タスキをつないで…

笠岡の冬の風物詩「カブトガニ駅伝」が12月18日、笠岡工業高校を発着点として男子19・1km、女子12・0kmのコースで行われ、総勢616人のランナーが参加しました。

各チームの選手たちは、寒風吹く冬の天候をもちともせず力走。さわやかな汗を額ににじませながらタスキをつないでいました。



◀世界の国から「メリークリスマス！」

12月11日、労働福祉会館で笠岡国際交流協会主催のクリスマスパーティーが開催されました。

市内外から参加した外国人を含む約120人は、ペルーの民族音楽に合わせて熱いダンスを踊ったり、英語の歌をみんなで歌ったりして、少し早めのクリスマスを楽しみました。子どもたちもクリスマス飾りの形をした箱を棒でたたいて開ける「ピニャータ」で大盛り上がり。中から出てきたお菓子にさらに笑顔がこぼれていました。

